

環境経営レポート2024

発行日 2025 年 3 月 31 日







環境経営方針

ごあいさつ	2
企業理念	3
環境経営方針	6

主な事業内容 &TOPICS

事業一覧	7
イベントホール	8
常設展示場・インキュベート施設	9
オフィス・ショールーム	10
レストラン・ショップ	11
ウミエール広場	12

環境経営組織・実績＆取組結果とその評価

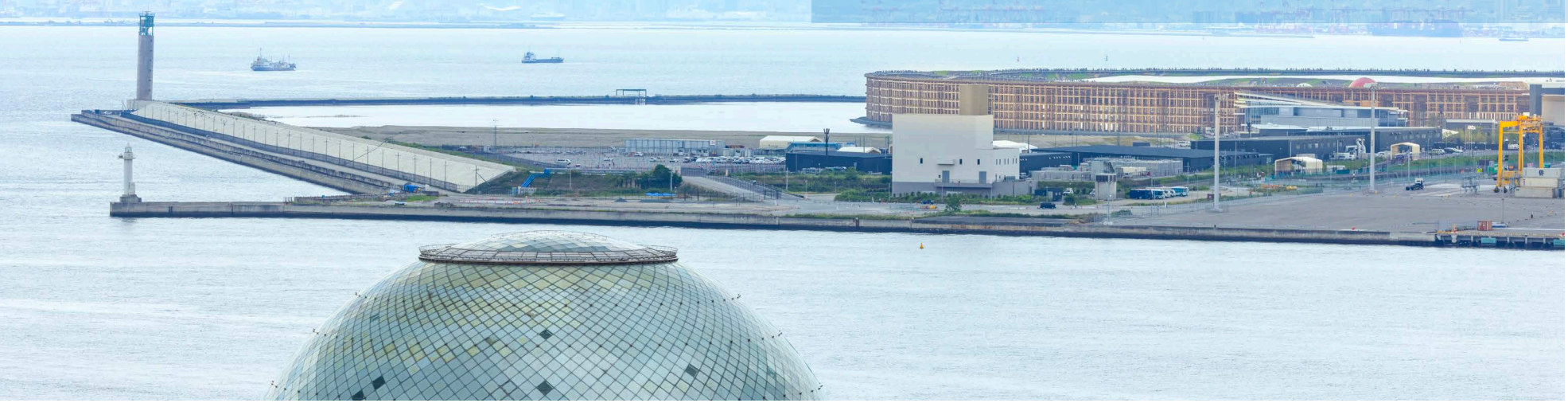
組織の概要	13
認証・登録の対象組織・活動	13
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	14
主な環境負荷の実績	15
環境経営目標及びその実績	16
環境経営計画の取組結果とその評価	17
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	23
緊急事態対応の試行・訓練	24

環境・社会活動

数字で見る ATC の働き方	25
エコアクション 21 関連社内会議	26
表彰	26
環境経営事務局	27
廃棄物分科会	28
CO_2分科会	29
SDGs・万博分科会	30
代表者による全体の評価と見直し・指示	33

人・モノ・情報が集う出会いの場

当社は、大阪ベイエリアの咲洲（さきしま）地区で、大型複合施設「ATC」を運営しております。延べ床面積33万㎡に及ぶ建物には、オフィスやショールーム、レストラン、物販店舗にご入居いただき、「ATCホール」では展示会、イベントなどの貸館や自主企画イベントを実施し、多数のお客様にお越しいただいております。また、介護福祉、環境ビジネス、輸入住宅建材等の常設展示場やデザイナー・クリエイターの創業支援施設を大阪市とともに運営し、当館を利用したIoT、RT(ロボットテクノロジー)を活用した実証事業などの取組を通じて、社会課題の解決や地域活性化にも積極的に取り組んでおります。2025年には隣接する夢洲（ゆめしま）においてSDGsの達成を目指して大阪・関西万博が開催されますが、当社も「エコアクション21」の取得、運用を通じて、環境経営を推進しSDGsの達成に貢献するとともに、近隣の施設・企業・団体や地域住民の皆様とともに大阪ベイエリアの発展に寄与して参ります。



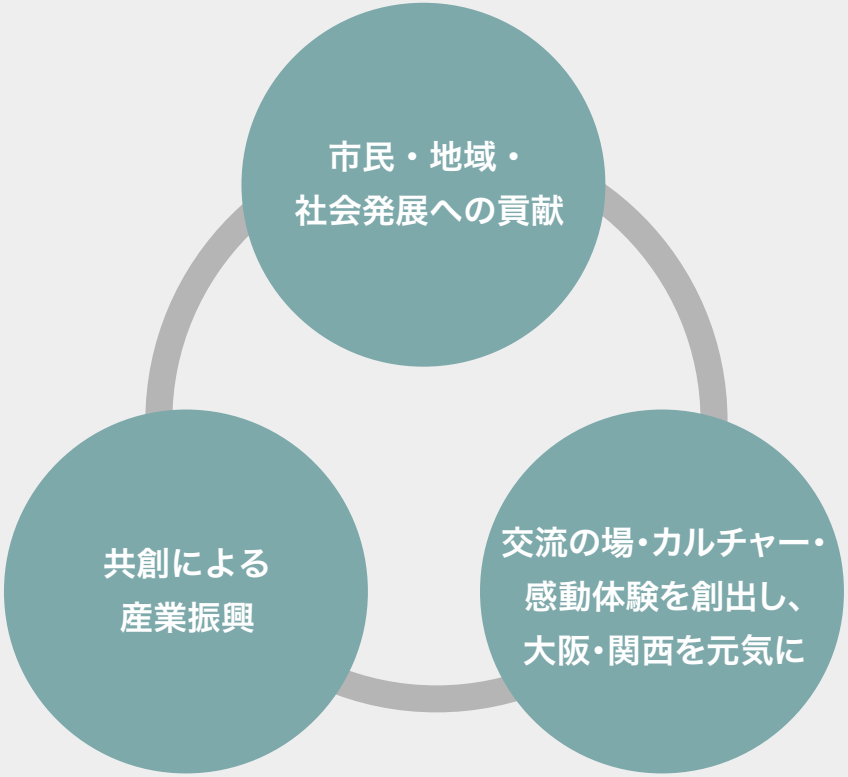


01

ATCの道標

私たちが社会に対して果たすべき役割として「市民・地域・社会発展への貢献」「共創による産業振興」「交流の場・カルチャー・感動体験を創出し、大阪・関西を元気に」の3点を掲げ、豊かな地域社会の実現を目指します。

Mission





ATCがめざす未来

ATCのミッションをもとに、将来目指す姿やありたい未来像を、社員の視点と経営の観点からそれぞれ定めています。大阪ベイエリアを起点に、世界的な視野を持って、私たちの目指す姿の実現に取り組んでいます。

Vision

1 豊かな未来を創造する輝く社員

2 大阪から世界へ、大阪ベイエリアの魅力あふれるATC



ATC価値の源泉

社員が創造的な活動を行うにあたり、判断基準となる行動指針をコアバリューとして定めています。社員一人ひとりの行動が価値の源泉であり、コアバリューを基盤にエンゲージメントを高め、ミッションとビジョンの実現に向けて活動しています。

Core Values

1
誇りと発展
私たちは、公共貢献の使命を持つATCで働くことに誇りをもち
更なる発展を目指します

2
向上と挑戦
私たちは、あくなき向上心と進取の気性を持ち、スピードと挑戦で
現状を打破し新たな企業価値を創造します

3
成長と連携
私たちは、透明性のある組織運営を心掛け、全社的視点で
あらゆる問題を自らの課題として認識しその解決につなげます

4
多様性と協力、後進の育成
私たちは、多様性を尊重し、互いに協力、成長し、
後進を育成して継承していきます

5
信頼関係の醸成
私たちは、顧客、協力会社の意向を尊重し、信頼関係を深めます

6
持続可能な経営
私たちは、リスクと採算性の管理を徹底し、コンプライアンス、
BCPの強化、環境負荷の軽減に取り組みます

環境経営理念

大阪ベイエリア咲洲地区で大型複合施設「ATC」を運営する当社は、不動産賃貸及び管理、催事・展示会の企画及び開催、各種の公共施設の運営を通じて、国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえた地球温暖化問題への取り組みを積極的に推進し、持続可能な地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

事業活動を通じて、以下に継続的に取り組み、地球温暖化の緩和と持続可能な社会の構築に貢献します。



1. 二酸化炭素排出削減
2. 廃棄物排出削減
3. 水使用量削減
4. グリーン調達・グリーン購入の推進

企業、団体、自治体等と協働で環境や社会問題解決に率先して取り組み、産業を振興することでベイエリアを中心とした地域活性化につなげます。



来館者、取引先、株主、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。



主な事業内容

事業一覧

大型複合施設 ATC の運営・管理及び施設でのイベントや展示会の企画等を主な業務としています。大阪・咲洲地区の中核施設として、さまざまな方にご利用いただいています。



各事業

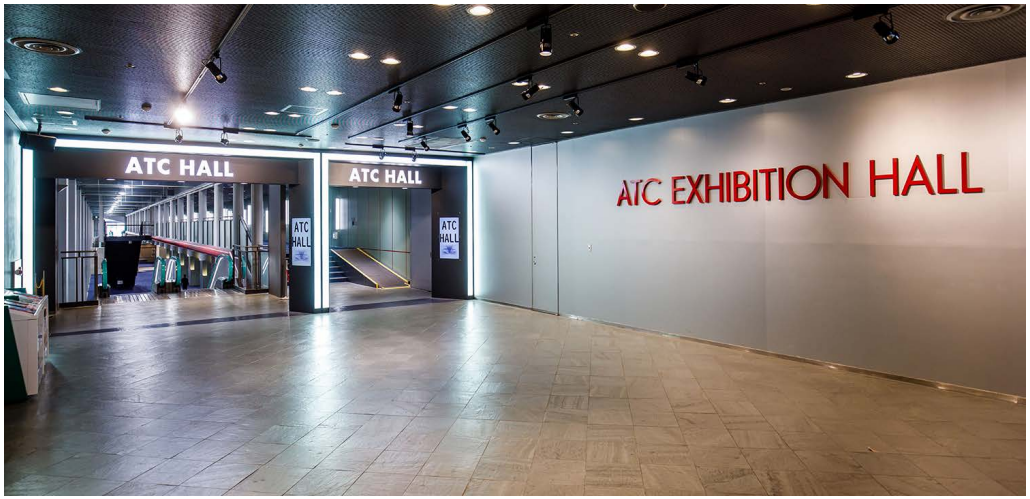
01

イベントホール

ワンフロアで総面積約7,000㎡の多目的ホール、大小あわせて5つのホール、連動可能な12の会議室によりさまざまなイベントニーズにお応えいたします。

https://atchall.com

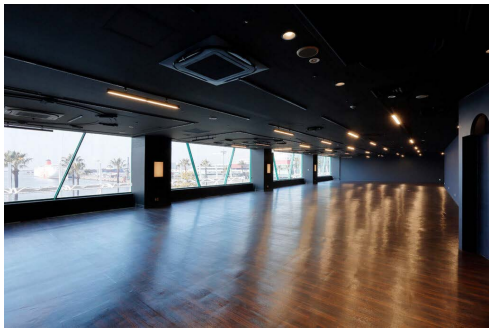
ATC ホール・コンベンションルーム・会議室




A ホール


B ホール

- A ホール（2,900 ㎡）（分割時 1,600 ㎡、1,300 ㎡）
- B ホール（1,130 ㎡）
- C ホール（1,000 ㎡）
- D ホール（270 ㎡）
- E ホール（250 ㎡）


ウミエールキューブ



ATC ギャラリー


ピロティ広場

各事業

02

常設展示場・インキュベート施設

環境・SDGs、福祉・健康、海外の優れた住宅に関する常設展示場によるビジネス情報の発信やクリエイティブ分野とICTなど先端分野のスタートアップ支援拠点とともに、社会づくりと未来のビジネス創出を支えています。

Showroom

大阪市との連携事業

入居・出展企業 約400社



日本最大級の環境ビジネス常設展示場
おおさかATC グリーンエコプラザ
https://www.ecoplaza.gr.jp



クリエイター独立・創業支援施設
大阪デザイン振興プラザ
https://www.osaka-design.co.jp



豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場
ATCエイジレス センター
https://www.ageless.gr.jp



先端技術を活用したビジネスのサポート拠点
ソフト産業プラザ TEQS
https://teqs.jp



世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場
IHPC
https://www.atc-ihpc.com



プロジェクト創出 × 人材育成拠点
iRooBO オープン テクノロジーセンター
https://iroobo.jp

各事業

03

オフィス
ショールーム

5坪程度のスモールオフィスから、
ワンフロア1500坪の広さまで、
様々なニーズにお応えできます。
充実の付帯設備も魅力です。

https://www.atc-building.com

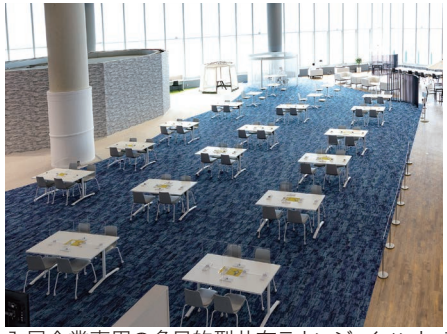


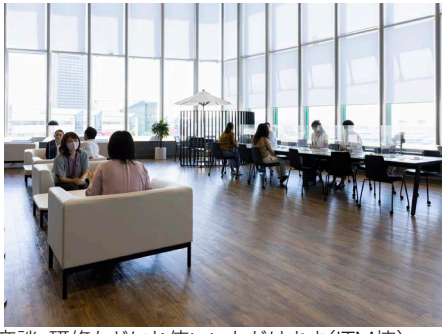




入居企業 160社以上

万博会場まで車で 約10分





入居企業専用の多目的型共有ラウンジ。イベント、商談、研修などにお使いいただけます（ITM棟）





O's棟にある入居企業専用のラウンジスペース「Do'ck」





爽快感のあるベイサイドロケーション

各事業

ショップ 16店
カフェ レストラン 31店
駐車場 1200台

04

レストラン ショップ

屋外でBBQも楽しめるロゴスカフェやシーサイドテラス（フードテラス）など、カフェ、居酒屋、ファストフードのほか、雑貨や靴、服飾関連の店舗も充実しています。

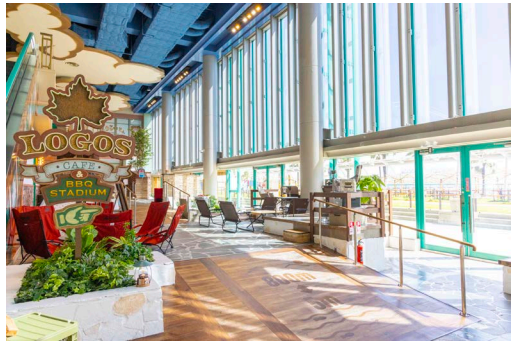
https://www.atc-co.com/restaurant













各事業

05

ウミエール広場

全長450mの海と空に開けたリラックスゾーン。屋外イベントにも対応しています。









Umiere square

組織の概要

名称及び代表者名
アジア太平洋トレードセンター株式会社
代表取締役社長　木村 繁

所在地
本社　大阪府大阪市住之江区南港北 2 丁目 1 番 10 号

環境経営責任者及び担当者
責任者　専務取締役　伊東 一哉
担当者　安田 夏実
連絡先　06-6615-5000

事業内容
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

事業の規模
売上高 62.6 億円（2024 年度）
従業員 48 名
延べ床面積 336,000 ㎡

事業年度
4 月 1 日～ 3 月 31 日

認証・登録の対象組織・活動

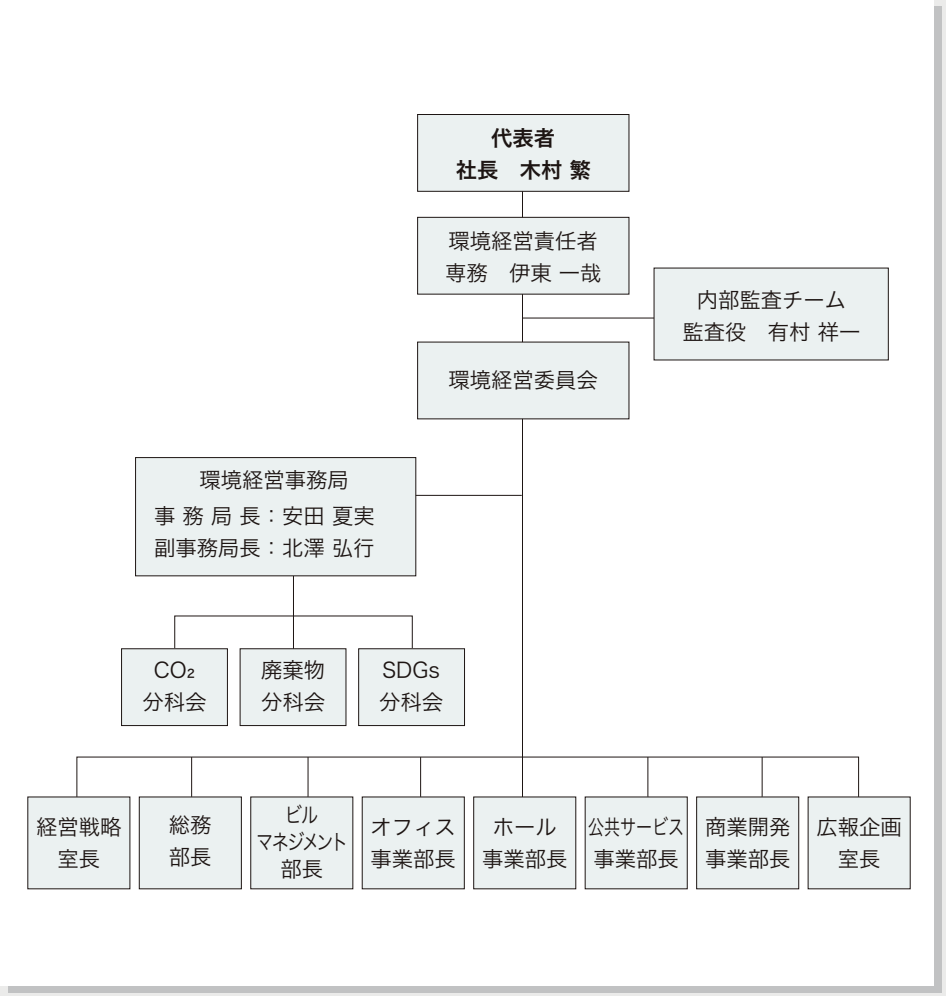
登録組織名
アジア太平洋トレードセンター株式会社

対象事業所
ATC ビル

対象外
なし

活動
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

環境経営組織図及び役割・責任・権限表（2025 年 3 月末現在）

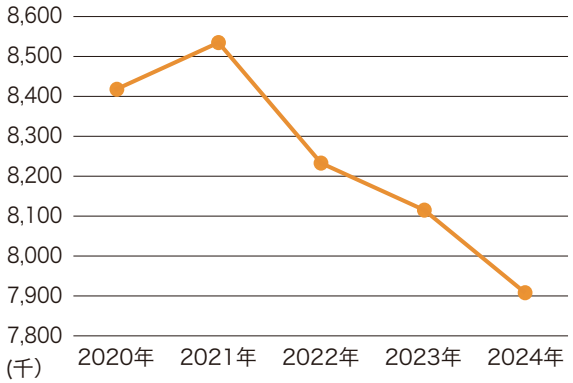


	役割・権限・責任
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境経営責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境経営責任者(専務)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
内部監査チーム	環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
環境経営委員会	環境経営方針・計画の審議 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境経営事務局 事 務 局 長：総務部長 副事務局長： 公共サービス事業部長	環境経営責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績 (※)

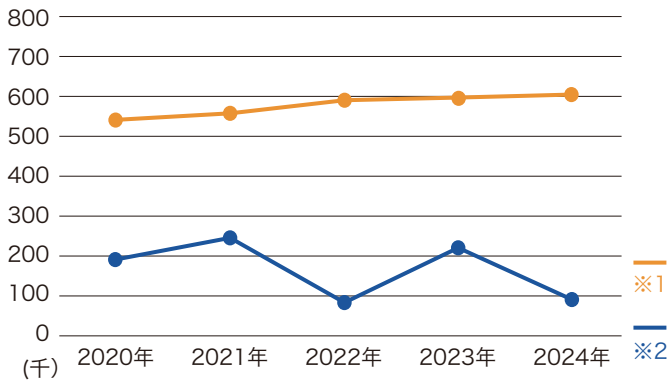
二酸化炭素総排出量（kg-CO_2）

2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
8,413,937	8,530,726	8,233,028	8,119,033	7,904,928



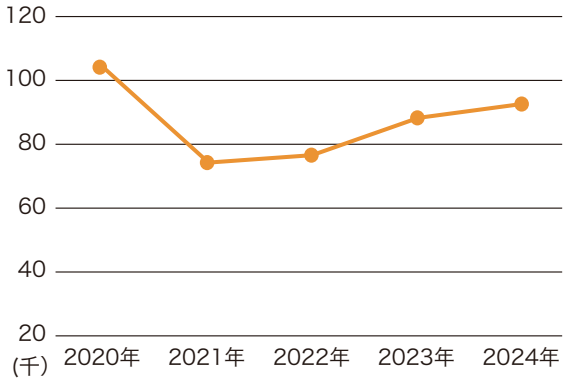
一般廃棄物排出量※1 産業廃棄物排出量※2（kg）

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
※1	539,760	558,140	591,160	597,400	640,600
※2	189,756	242,400	80,779	221,026	95,001



水使用量（㎥）

2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
75,334	78,449	87,547	89,950	91,129



※二酸化炭素排出係数0.318kg-CO_2/kWh(関西電力の2019年度調整後の係数)
※地域冷暖房のCO_2排出係数　0.057t-CO_2/GJ
※二酸化炭素排出係数については当社の活動内容での実績を見るため固定値にしています。
※2021年度は再生可能エネルギー3%、2022年度からは8%

環境経営目標およびその実績（※）

項目	年度 目標比		基準値（基準年）	2024年（目標）	2024年（実績）	目標比	達成状況	2025年（目標）
電力による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館 101%×	kg-CO_2	5,809,867	4,223,773	4,244,940	101%	×	4,165,674
		基準年度比	2019年	72.7%	73.1%			71.7%
	来場者原単位	kg-CO_2/人	0.88	0.64	0.66	—	×	0.63
	ATCホール 96%○	kg-CO_2	134,251	87,531	84,071	96%	○	86,189
		基準年度比	2019年	65.2%	62.6%			64.2%
	稼働率原単位	kg-CO_2/日	520.4	339.3	486.0	—	×	334.1
熱供給による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館 111%×	kg-CO_2	3,171,543	3,104,940	3,447,240	111%	×	3,073,225
		基準年度比	2019年	97.9%	108.7%			96.9%
	来場者原単位	kg-CO_2/人	0.483	0.473	0.534	—	×	0.468
	ATCホール 144%×	kg-CO_2	97,151	89,379	128,678	144%	×	88,407
		基準年度比	2019年	92.0%	132.5%			91.0%
	稼働率原単位	kg-CO_2/日	376.6	346.4	743.8	—	×	342.7
一般廃棄物の削減	全館 121%×	kg	702,420	528,922	640,600	121%	×	521,898
		基準年度比	2019年	75.3%	91.2%			74.3%
産業廃棄物の削減	ATCホール除く全館 57%○	kg	305,126	139,137	79,651	57%	○	136,086
		基準年度比	2019年	45.6%	26.1%			44.6%
	ATCホール 61%○	kg	33,120	25,237	15,350	61%	○	24,906
		基準年度比	2019年	76.2%	46.3%			75.2%
リサイクルの推進（2021年度から追加）	84%○	リサイクル率	37.4%	46.7%	46.8%	84%	○	47.7%
		基準年度比	2019年	125%	125%			127.6%
コピー用紙の削減	100%×	枚	644,015	401,865	437,286	100%	×	395,425
		基準年度比	2019年	62.4%	67.9%			61.4%
水道水の削減	97%○	㎥	103,933	94,059	91,129	97%	○	93,020
		基準年度比	2019年	90.5%	87.7%			89.5%
グリーン調達・グリーン購入の推進	110%○	グリーン購入比率	12.9%	47.0%	51.5%	110%	○	48.0%
		基準年度比	2019年	364%	400%			372.1%

※二酸化炭素排出係数0.318kg-CO_2/kWh
（関西電力の2019年度調整後の係数）
※地域冷暖房のCO_2排出係数　0.057t-CO_2/GJ
※二酸化炭素排出係数については当社の活動内容での
実績を見るため固定値にしています。
※2021年度は再生可能エネルギー3%、2022年度からは8%

電力による二酸化炭素削減

全館（ATC ホールを除く）

目標比 **101%×**

数値目標と実績

目標 4,223,773kg-CO_2 ▶ 実績 4,244,940kg-CO_2

おもな取り組み計画	達成状況
エスカレーター、階段の利用促進	○
事務所内の室温を夏28度・冬20度推奨	○
OA機器や家電製品購入省エネ商品推奨	○
PCの電源OFFとスリープモードの時間制限設定	○
デスクトップPCからノートPCへの移行	○

ATC ホール

目標比 **96%○**

数値目標と実績

目標 87,531kg-CO_2 ▶ 実績 84,071kg-CO_2

おもな取り組み計画	達成状況
自主催事による再生可能エネルギーの導入	○

2024年度再生可能エネルギー20%採用

CO_2削減に向けて、再生可能エネルギーの採用を進めてきました。2021年の3%から2022年には8%に引き上げ、2024年度からは、さらに20%にアップさせています。

再生可能エネルギー比率の推移



熱供給による二酸化炭素削減

全館（ATC ホールを除く）

目標比 **111%×**

数値目標と実績

目標 3,104,940kg-CO_2 ▶ 実績 3,447,240kg-CO_2

おもな取り組み計画	達成状況
空調の適正温度設定	○
デマンドコントロールしながら効率の良い空調運転	○
催事搬出入時等、大扉の開放したままにしない	○

ATC ホール

目標比 **144%○**

数値目標と実績

目標 89,379kg-CO_2 ▶ 実績 128,678kg-CO_2

おもな取り組み計画	達成状況
利用者へ空調の適正温度の呼びかけ	○
協力会社への節電の要請	○

一般廃棄物の削減

全館

目標比 121%×

数値目標と実績

目標 528,922kg ▶ 実績 640,600kg

おもな取り組み計画	達成状況
使い捨て商品の購入を削減	○
分別の徹底による再資源化の推進(社内・テナントへの周知)	○
飲食テナントに生ごみ計量を実施中	◎

ペットボトルキャップを分別・リサイクルし寄付

ATCでは、館内で集められたペットボトルキャップを各種団体に寄付する活動を2021年度より行っています。



産業廃棄物の削減

全館（ATC ホールを除く）

目標比 **57%○**

数値目標と実績
目標 139,137kg ▶ 実績 79,651kg

おもな取り組み計画	達成状況
テナントに各自で適正処分を依頼	○
電子マニフェストを導入し法令順守を徹底する	○
展示・施設用什器、備品、ブース再利用の取り組み推進	○

ATC ホール

目標比 **61%○**

数値目標と実績
目標 25,237kg ▶ 実績 15,350kg

おもな取り組み計画	達成状況
計測による数値の見える化	○

リサイクルの推進（リサイクル率）

全館

目標比 84%○

数値目標と実績
目標 46.7% ▶ 実績 46.8%

おもな取り組み計画	達成状況
テナントに各自で適正処分を依頼	○
電子マニフェストを導入し法令順守を徹底する	○
展示・施設用什器、備品、ブース再利用の取り組み推進	○

コピー用紙の削減

全館

目標比 100%×

数値目標と実績
目標 401,865 枚 ▶ 実績 437,286 枚

おもな取り組み計画	達成状況
オンライン名刺の活用	○
紙での保管からPDF等データでの保管を推奨	○
申請書類の電子化とクラウドストレージの拡充	○

水道水の削減

全館

目標比 97%○

数値目標と実績

目標 94,059㎥ ▶ 実績 91,129㎥

おもな取り組み計画	達成状況
トイレ個室にタッチレス式自動洗浄装置、擬音装置の設置	○

グリーン調達・グリーン購入の推進

全館

目標比 110%○

数値目標と実績

目標 47.0% ▶ 実績 51.5%

おもな取り組み計画	達成状況
事務用品はグリーン購入法適合商品を優先して購入	○
一時的な利用はレンタルを検討する	○
リサイクルペーパーの使用	○

環境関連法規等の遵守状況

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	
ビル管法	ATCビル（特定建築物）
省エネ法	エネルギー使用量原油換算1500KL/年以上（※1）
地球温暖化対策推進法	エネルギー使用量原油換算1500KL/年以上（※2）
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
消防法（危険物）	危険物の保管
顧客要求事項	品質管理

※1：当社は省エネ法上の「特定事業者」です。
※2：当社は地球温暖化対策推進法上の「特定事業所」です。

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

南海トラフ地震を想定した津波避難訓練を実施

和歌山県串本沖の南海トラフ地震が発生し、住之江区では震度6弱を観測し、「津波警報」が発令された想定で避難訓練を実施しました。
昨年に続き、7月と11月の2回実施し、ATCやテナントの従業員が参加しました。

7 月の訓練





11 月の訓練





数字でみるATCの働き方（2024年度）

社員数
嘱託・再雇用・アルバイト含む
2025年3月31日現在

全体 48 人

男性 32 人　女性 16 人

平均年齢
正社員
2025年3月31日現在

全体 49 歳

男性 49 歳　女性 49 歳

月平均残業時間
正社員（管理職除く）

11 時間

定年退職者の再雇用者数

0 人

管理職数
2025年3月31日現在

全体 14 人

男性 11 人　女性 3 人

キャリア採用者数

全体 3 人

男性 1 人　女性 2 人

障がい者雇用率
2024年6月1日現在
障碍者雇用状況報告書報告値

2.11 %

有給休暇取得率
正社員

50 %

退職者数
定年退職者含む

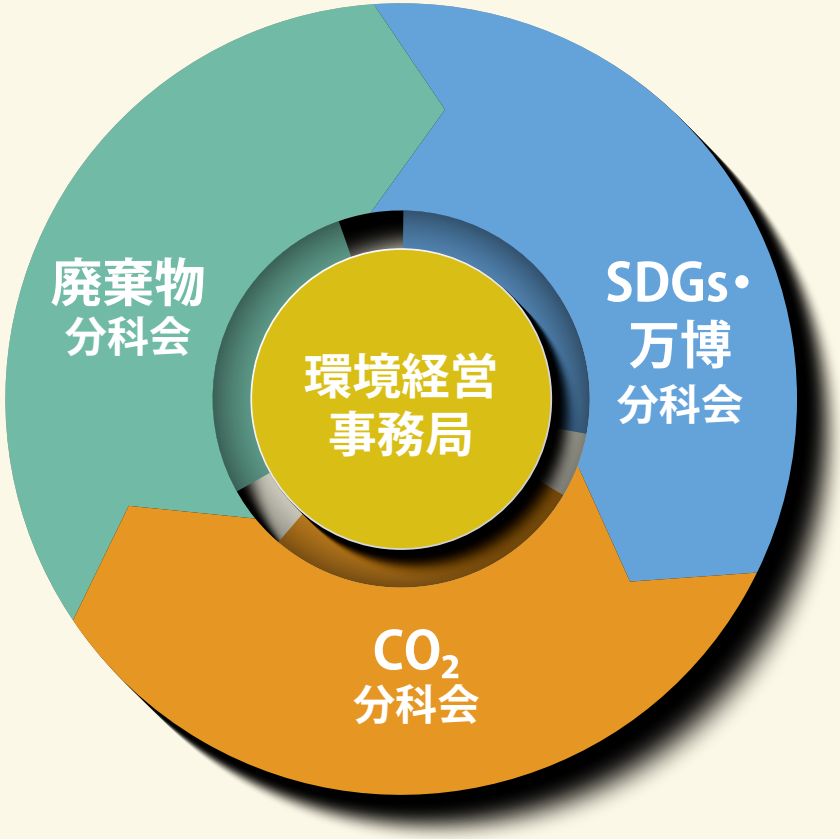
2 人 ※2023年度 定年退職者 0人

健康診断受診率

100 %

環境・社会活動

ATCでは事業活動を通して、環境や社会の視点から情報を発信しています。エコアクション21の活動を通じ、
環境経営方針に基づく取り組みについて、テーマごとに社内活動や対外活動を紹介します。



エコアクション21関連社内会議

環境経営委員会

適宜開催

環境経営事務局会議

毎月第3金曜日 … 3つの分科会に関連する各部の取組みについて数値や取組みの報告と意見交換を行う

表彰

健康経営優良法人認定

ATCは社員が心身ともに安心して健康的に働くことができる優良な健康経営を実践している企業として認定されました。

環境経営事務局

1 ATC運営会社のホームページに環境活動の情報を追加

ATC運営会社のホームページにあるサステナビリティページに、環境活動の情報を追加しました。



https://www.atc-co.com/corp/company/sustainability/environment/

廃棄物分科会

1 大阪府実証実験「テイクアウト飲料用カップ等の散乱防止モデル事業」

プラスチックごみの削減を目的とし、特典付与の有無でカップ廃棄方法の行動変容を検証しました。



2 特定建築物への報告徴収

ごみ減量優良建築物への立入検査の代わりとして、立ち入り検査項目のうち必要項目について大阪市環境局に報告いたしました。

3 特定建築物維持管理状況の調査報告書を提出

特定建築物維持管理状況の調査報告書を大阪市保健所へ提出しました。

CO_2 分科会

1 オフィス専有部LED化工事

オフィス専有部における第3期LED化工事を実施し、専有部のLED化を完了しました。第1期および第2期（～2023年度）までに専有部全体の94.0%がLED化されており、2024年度に第3期工事が終了したことで94.8%に達しました。これにより、オフィス専有部のLED化が完了しました。

2 大阪市クーリングシェルター・大阪府クールオアシス

大阪市クーリングシェルターおよび大阪府クールオアシス協定書を締結しました。猛暑から府民の命を守り、あわせて健康被害の軽減を図ることを目的として、猛暑時には当社の施設や店舗等を、暑さをしのげる涼しい空間（クールオアシス）として提供します。

3 デマンド実証実験

快適なオフィス環境づくりのため、寒波が到来した1月9日、10日にデマンド実証実験を実施しました。

4 複合機の見直し

複合機のリース期間満了にあわせて、複合機の見直しを行いました。DX推進によるペーパーレス化を進めるため、複合機の台数を6台から4台に削減しました。あわせて、印刷ミスの削減や書類の混在防止を目的として、私書箱機能を追加しました。



5 第１駐車場内のEV充電器の更新

設置から9年が経過した第1駐車場内のEV充電器について、経済産業省の補助金を活用して更新を行いました。稼働率を踏まえ、全28台のうち6台を更新対象とし、残り22台については2024年9月末をもって利用を停止しました。

6 トイレのリニューアル

老朽化したトイレのリニューアルを進めており、2024年度は4カ所を改修しました。女子トイレを増設した力所やバリアフリー化、高機能化をすすめるなど、省エネでより快適な空間づくりに努めています。

2024年度：ITM棟２階北側トイレ改修、ATCホール内トイレ(女子トイレ増設)、
ITM棟南館3～12階（和便器を洋便器へ）、オズ棟北館3階男女トイレ、バリアフリートイレ改修



SDGs・万博分科会

1 ごみ祭

会場：咲洲モリーナ、ATC海辺のステージ
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーの中島さち子氏による、ごみ祭りを5月3日（ごみの日）に咲洲モリーナとATC海辺のステージで開催しました。





開催日：
2024年5月3日

2 第7回サキシマベイエリアクリーンアップ大作戦

「春の海ごみゼロウィーク2024」にあわせたスペシャル清掃を実施し、42.52kgのごみを回収しました。

開催日：2024年6月6日



3 あべてんフェス出展

万博300日前イベントのあべてんフェスに出展し、夏の催事、エコプラザの紹介、アップサイクルワークショップを実施しました。

開催日：2024年6月15日～17日



4 ギョギョッとサカナ★スター展

万博300日前イベントのあべてんフェスに出展し、夏の催事、エコプラザの紹介、アップサイクルワークショップを実施しました。

開催日：2024年7月12日～9月22日



5 うみピカピカだいさくせん スタンプラリー

夏のイベント「ギョギョッとサカナ★スター」にちなみ、絵本「うみピカピカだいさくせん」とコラボしたスタンプラリーを実施しました。

開催日：2024年7月13日～9月22日



6 サキシマmeets!大運動会

開催日：2024年10月19日

近隣企業や咲洲地区外の企業など、大人から子どもまで12チーム90名以上の方々が集まり、楽しく汗を流しました。いずれの競技もみんなが参加できるよう工夫され、車いすチームなど様々な方が楽しく身体を動かしていました。



SDGs・万博分科会

7 関西キッズ機器展

障がいのある子どもたちの自立や活動の可能性を広げることを目的に、福祉機器を紹介・展示する関西最大級のイベントを実施しました。



開催日：2024年12月1日

8 第22回サキシマmeets！定例会

「ごみを活かしてわくわくする社会をつくろう！」をテーマにリサイクルや循環型社会について、カードゲームを活用して学びました。

開催日：2024年12月20日



9 第12回咲洲こどもEXPO2024

子どもたちの未来へのチャレンジをサポートすることを目的に、地域の学校、企業、行政とともに「第12回咲洲こどもEXPO2024　～Think SDGs 笑顔がつながる、未来をつくる～」を開催しました。ロボット、絵本、ダンス、音楽、スポーツ、防災、環境、自動車、国際交流など過去最多のプログラムを実施し、2025大阪・関西万博に向け、機運を高めました。

開催日：2024年10月26・27日



10 なにわエコ会議企画「ごみを減らして、生き物と地球を守ろう！」に参加

南港野鳥園付近に打ち寄せられたプラスチックごみを拾うイベントに参加しました。ごみやマイクロプラスチックが、野鳥や生き物たちにどのような影響を及ぼしているのか、私たちの暮らしの中でなにができるのか考える機会になりました。

開催日：2024年12月1日

11 プラスチックごみ削減策の提案募集

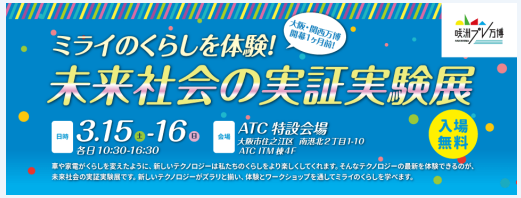
飲食店、物販店問わず、商業各店舗のプラスチックごみ削減策を提出いただき、「プラスチックごみ削減」報奨制度に反映しました。

開催日：2024年12月20日

12 万博開幕1カ月前イベント

大阪・関西万博を間近に控えたイベントとして、「Kid's tech EXPO」、未来社会の実証実験展、ECO EXPO、World Healthy Festa等を実施しました。







Kid's tech EXPO

開催日：2025年3月15・16日

代表者による評価と見直し

項　目		目標値達成状況	目標値達成状況（原単位）	2024 年度
電力による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	×	×	入居率向上（前年比5%アップ）や猛暑、厳冬の影響で空調使用量が増加し、それに伴い電力使用量も増加したためCO_2排出量、原単位とも目標未達成となった。2025年度は再生可能エネルギーの比率を20%から25%にアップさせる。
	ATCホール	○	×	特定天井工事期間（7/31～11/17）において、夜間工事による電気使用増や、工事従事者の熱中症予防のため空調を使用したものの、全体的には電力使用量は抑制でき目標達成となったが、稼働日数が下がったため原単位は目標未達成となった。
熱供給による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	×	×	地球温暖化等による夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響が大きくCO_2排出量、原単位とも目標未達成となった。
	ATCホール	×	×	特定天井工事期間中、熱中症予防のため空調を稼働させていたことを主要因として大幅増加し目標未達成となった。原単位においても目標未達成となった。
一般廃棄物の削減（全館）		×	-	来場者数は前年比3%アップ、入居率は5%アップの影響などにより一般廃棄物量も増加し目標未達成となった。
産業廃棄物の削減	ATCホール除く全館	◯	-	万博関連入居に伴うスペースの確保が一定落ち着いたこと、昨年度発生したカビによる大量の廃棄が少なかったことから目標達成となった。
	ATCホール	○	-	特定天井により休館期間があり産廃が多く排出される催事は12月～翌３月に時期をずらして開催されたが全体としては削減でき目標達成となった。
リサイクルの推進（リサイクル率）		○	-	リサイクルできない産業廃棄物の発生量が抑制されたことから目標達成となった。
コピー用紙削減		×	-	万博関連業務等による多忙により各部の業務量が多くなっており、それに連動してコピー用紙使用量は増加し目標未達成となった。
水道水の削減		○	-	2024年度も引き続きトイレにおいて節水対応の更新工事を実施したことなどにより水道水使用量は削減となり目標達成した。
グリーン調達・グリーン購入の推進		○	-	総務部による事務用品等購入時におけるグリーン購入対象商品の重点購入の取り組みについて、社内への浸透が一層進んだ。
SDGs の取組みと情報発信		-	-	「環境経営レポート2023」を作成し、WEBでの公開とステークホルダーに冊子の配布を行った。
万博を契機とした産業振興		-	-	大阪・関西万博 1年前で年度を通して様々なイベントを開催。万博関連テナントが多数入居した。
社会の要請に応じた企業価値向上		-	-	企業理念や第7次中期経営計画が策定された。

当社は、2020 年度よりエコアクション 21 に基づく環境経営を全社的にスタートし、本年で丸 5 年を迎えました。この節目にあたり、これまでの取り組みを振り返るとともに、持続可能な社会の実現に向けて、企業として果たすべき責任を再確認しております。この 5 年間、当社では産業廃棄物の削減や再生可能エネルギーの導入、省エネ設備への更新等を通じて、CO_2排出量の削減に向けた継続的な取り組みを進めてまいりました。その結果、環境負荷の低減において一定の成果を挙げることができたと考えております。2024 年度は、2025 年大阪・関西万博の開催準備による影響を大きく受けた年となり、入居率や来場者数の増加といった要因により、すべての環境負荷を削減することは困難な状況でした。しかしそのような中でも、CO_2総排出量および産業廃棄物排出量は前年度比で削減することができ、当社の主体的取り組みにかかる日々の改善活動の積み重ねが効果を発揮していることを実感しております。これからも、エコアクション 21 の理念に則り、取引先の皆さまとともに、環境負荷軽減と経営の両立を目指してまいりたいと考えております。引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長　木村 繁